

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	環境建築小委員会		主 査 名：郡 公子 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名：岩田利枝 主 査 名：秋元孝之
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術動向と将来予測に関する討議、委員会活動の方針策定 ・ 環境建築の設計・運用事例と実績データの収集と分析 ・ 環境建築の評価研究や技術の開発、性能予測研究の事例収集と分析 ・ 2017 年度大会において OS を企画・実施 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：郡公子 (宇都宮大学) 幹事：永田明寛 (首都大学東京)、中山哲士 (岡山理科大学) 委員：赤司泰義 (東京大学)、石野久彌 (首都大学東京)、岩渕弘太 (松田平田設計)、宇田川光弘 (工学院大学)、大木泰祐 (大成建設)、菊田弘輝 (北海道大学)、木幡悠士 (NTT ファシリティーズ)、小池正浩 (竹中工務店)、長井達夫 (東京理科大学)、丹羽勝巳 (日建設計)、羽山広文 (北海道大学)、山本佳嗣 (日本設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	8 回の小委員会 (第 7 回は 2017/2/19、第 8 回は 2018/3 月開催予定)、と見学会を開催し、幅広い情報交換と討議を行った。 2017 年度大会では OS「環境建築とシミュレーション」を企画し、計 13 編 (3 セッション) の応募があった。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>環境建築小委員会を 8 回開催（第 7 回を 2018/2/19、第 8 回を 2018/3 月開催予定）した。環境建築に関する技術動向や将来予測、設計・運用事例、環境建築評価研究や技術の開発、性能予測研究等の話題提供について議論した。また、各回において環境建築（見る・使う・学ぶ）第 3 弾出版企画についての検討し、掲載候補となる建築の選定や見学会を積極的に実施した（主な見学先：北海道、関東、東海、近畿、中国、九州地方の環境建築）。なお、出版に関しては 2018 年度からは「環境建築設計論刊行小委員会（主査：石野久彌）」に受け継ぐ。</p> <p>各回の主な話題提供</p> <p>■第 1 回 2017/4/1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外断熱工法によるマンションの大規模修繕 その 1 計画と工事の概要資料 ・環境建築の運用最適化について <p>■第 2 回 2017/6/19（於：竹中工務店東関東支店 会議室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COOLSPOT 2017 ・EESLISM による空調システムの熱負荷シミュレーション <p>■第 3 回 2017/8/29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンファクターと建築設備 ・エアカーテンの熱・気流遮断性能に関する研究 <p>■第 4 回 2017/10/12</p> <p>■第 5 回 2017/12/11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室外機置場の芋緑化 ・デマンド換気を導入した超高性能パッシブ換気住宅の評価 <p>■第 6 回 2018/1/15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本コカ・コーラ本社ビルの環境配慮技術 <p>■第 7 回 2018/2/19（予定）</p> <p>■第 8 回 2018/3 月（予定）</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。